

広報大洲

きらめき創造
—みとめあい—

大洲市
ささえあう

— 肱川流域都市 —

おおず



2012
No.88

5

小学校閉校記念式典

豊茂小学校

校歌と校訓を、そして感謝を、いつまでも忘れない。

〈小学校閉校記念式典〉

平成23年度末で、市内4校の小学校がその長い歴史に幕を閉じました。
4月から、豊茂・柴・櫛生小学校の児童は長浜小学校に、蔵川小学校の児童は菅田小学校に通うこととなります。
今月号では3月24日(土)、25日(日)に行われた閉校記念式典の様子とそれぞれの小学校をご紹介します。



柴小学校



櫛生小学校



蔵川小学校



みどり豊かな
 学びの庭は
 朝な夕なに
 目ごとの道は
 はげめや強く
 山あいの
 豊茂校
 かよう坂
 遠くとも
 すこやかに

豊茂小学校

3月24日(土)

豊茂小学校

『美しい自然、地域の支えに感謝』

豊茂小学校は、山に囲まれた自然豊かな場所にあります。「強く・正しく・明るく」を校訓とし、明治8年に創立してから137年間、2615人もの児童がこの学校で学び、卒業していきました。

閉校記念式典で、久保浩一^{ひくろくいち}統廃合準備委員会委員長は「今回の閉校は、過疎化や少子化などが問題になる中、子どもたちによりよい環境を提供したいと考えた末の結果でした。小学校がなくなっても、豊茂には地域のみなさんの行動力、知恵、まとまりがあります。今後、子どもたちはスクールバスで通学することになりますが、地域で見守っていきましよう」と述べました。

児童の言葉では、「豊茂には自慢できるものがたくさんあります。美しい自然や地域の支えがあったから、今まで頑張ってきました。4月からは長浜小学校で力いっぱい、豊茂の子として頑張ります」と今まで支えてもらった地域のみなさんへの感謝と、今後の抱負を述べました。



3月24日(土)

柴小学校

柴小学校は、清流肱川の近くに位置する学校です。136年もの長い歴史を、多くの卒業生とともに過ごしてきました。ここでは、地域の文化や伝統を生かし、児童の個性に応じて創意ある教育を行ってきました。

閉校記念式典で、岡花貢おかのみよ統廃合準備委員会委員長は「柴地区の中心として、地域を見守ってくれた小学校が閉校することは、誠に残念なことです。」



『思い出を詰め込んだ 学び舎の柴小学校』

子どもたちには、長浜小学校の大勢の仲間と充実した学校生活を送ってもらいたいと思います。地域のみなさんも、今までどおり温かく見守ってください。今後は、里づくりを通じて新しい一歩を踏み出していききたいと思います」と述べました。

児童の言葉では「柴小学校には、たくさんの行事があつて、一つひとつが思い出になっています。これからも、柴小学校は心の中にある続けます。しっかりと自分の道を歩けるように頑張ります」と今後の決意を述べました。

式典後には記念碑のお披露目があり、多くの地域住民の協力を得て建てられた記念碑を前に、子どもたちは笑顔でしゃべっていました。



山なみ青い柴の里 柴の里
小鳥とともににはばたいて
柴の子供よほがらかに
明るい心をそだてよう



春は峯みね さくら花
 あき段畑の はぜ紅葉
 四時のながめの 美わしき
 我が学びやよ 櫛生校

櫛生小学校

3月25日(日)

櫛生小学校

『櫛生の誇りを忘れない』

櫛生小学校は山と海に囲まれ、四季折々の風景を楽しむことができます。自然豊かな場所にあります。「なかよく・あかるく・つよく」の校訓の下、3825人もの児童がこの学校で学び、卒業していきましました。

閉校記念式典で、田中堅太郎けんたろう統廃合準備委員会委員長は「昔は地域にも活気があったが、少子高齢化に伴い、櫛生小学校が廃校になることは本当に残念です。子どもたちには、これからも勉学やスポーツに励んでほしいと思えます。長年、櫛生・須沢地区の地域住民は一致団結してきました。今後みなさんの知恵をお借りして、地域を盛り上げていきたいと思えます。みなさんには心から感謝しています」と述べました。

児童発表では、全校児童が太鼓の演奏を行い、式典に花を添えました。児童の言葉では「先輩たちが守ってきた豊年踊りは、櫛生の誇りです。周りの友達や地域のみなさんに感謝したいです。本当にありがとうございました」と地元じもとの誇りを胸に、感謝の気持ちを述べました。



3月25日(日)

蔵川小学校

『いつか、
この場所で会おう』

蔵川小学校の歴史は、明治8年に蔵川村役場跡の人家で、児童に勉強を教えたことから始まりました。それから137年もの間、地元住民の協力を得ながら、多くの卒業生を輩出してきました。

閉校記念式典で、^{かみだ}神田俊和^{としかず}統廃合準備委員会委員長は「郷土の誇りである小学校がなくなることは、言葉では言い表せません。しかし、今回のことを新しい時代の幕開けだと思ってください。子どもたちには、より成長できるように頑張ってもらいたいと思います。今後、新しい蔵川の里づくりを努めていきます」と述べました。児童の言葉では「田植えなどの行事も、みんなと力を合わせて頑張りました。思い出がいっぱい



蔵川小学校は、ずっと心の中に生き続けます。いつか、この場所で、もう一度みんなと会いたいです」と蔵川で過ごした思い出と再会の誓いを述べました。

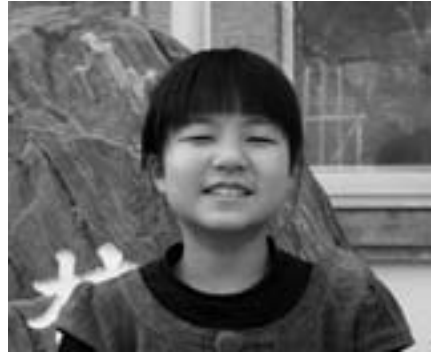
式典の会場には、歴代の卒業生の写真が飾られ、参加者は懐かしい写真を眺めながら会話を弾ませていました。

緑にもえる
さえずる鳥の
ぼくもわたしも
希望に胸を
朝露ふんで
楽しく学ぶ

山々に
空高く
手をつなぎ
はぐませ
通おうよ
わが校舎



蔵川小学校



豊茂小学校 5年生
山本 日菜 さん (取材時)

「友達をたくさん作りたい」

長い間過ごしてきた小学校がなくなってしまうことは、本当に寂しいことです。これから長浜小学校に通うことになり、不安なこともあるけど、今は楽しみという気持ちの方が勝っています。

長浜小学校に行ったら、たくさんの友達を作りたいと思います。豊茂小学校にはなかった行事も楽しみに、何事にも前向きに頑張っていきたいです。

今まで先生や両親、地域のみなさんにはいろいろなところで、たくさん助けてもらいました。迷惑をかけることがあるかもしれないけど、これからもよろしくお願いします。本当にありがとうございます。

「思い出を胸に」

私が一番思い出に残っていることは、どんこバレーで、これからも参加していきたいと思っています。閉校が決まったこの一年間は、柴小学校での行事で悔いを残さないように心がけました。

先生たちには怒られることもあったけど、今思つてよかったと思います。いつも勉強を教えてくださいましてありがとうございました。私が柴小学校の最後の卒業生になってしまふけど、在校生のみんなには新しい学校で、学年に関係なく友達を多く作ってもらいたいです。私も中学校へ進学し、新しい環境に戸惑つこともあるかもしれないけど、その時は柴小学校で過ごしたことを思い出します。柴小学校のことは絶対に忘れません。



柴小学校 6年生
白居 穂邑 さん (取材時)

「櫛生小学校は宝物」

5年間通い慣れた小学校がなくなってしまうことは寂しいです。だけど、4月からは最高学年になるので、長浜小学校では勉強に励みたいです。

櫛生小学校は、地域みんなが協力し合える場所で、私たちにとって宝物みたいなところでした。私は学芸会での「よだかの里」という劇が、一番の思い出に残っています。今まで迷惑をかけた両親や先生たちには、本当に感謝しています。

これからも地元の行事には積極的に参加していきたいです。いつまでも櫛生小学校のことを忘れません。



櫛生小学校 5年生
竹内 夏帆 さん (取材時)

「蔵川小学校は楽しい♪」

蔵川小学校では、毎日みんなと遊んだことが一番楽しかったです。小学校がなくなることは悲しくて、閉校までの残された時間を、大切に過ごそうと思っていました。4年間しか通うことができなかったけど、たくさん思い出ができました。

菅田小学校では、新しく出会うみんなと仲良くできるのが不安ですが、蔵川ではゲートボール大会などがあるので、菅田小学校で友達ができたら、蔵川に遊びに来てもらいたいです。

今まで一生懸命僕たちを指導してくれた先生たちには、改めて感謝の言葉を伝えたいです。本当にありがとうございます。



蔵川小学校 4年生
新家 幸己 さん (取材時)